

第33回関西障がい学生支援担当者懇談会（2024年9月4日開催）

【アンケート集計結果】

1～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数74名※うち分科会出席者74名）、5～10はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数39名※回収率52.7%）

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
京都大学	1
京都工芸繊維大学	1
京都府立大学	1
京都市立芸術大学	1
福知山公立大学	1
大谷大学	5
京都医療科学大学	1
京都外国語大学・京都外国語短期大学	2
京都芸術大学	1
京都産業大学	1
京都女子大学	1
京都精華大学	4
京都先端科学大学	2
京都橘大学	3
京都ノートルダム女子大学	1
京都文教大学	1
同志社大学	4
同志社女子大学	3
佛教大学	3
立命館大学	1
合計	38

大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
長浜バイオ大学	1
大阪大学	2
大阪公立大学	5
大阪経済大学	1
大阪産業大学	1
近畿大学	1
常磐会学園大学・常磐会短期大学	2
阪南大学	1
桃山学院大学	4
神戸大学	3
大手前大学	2
関西学院大学	3
甲南大学	1
神戸学院大学	1
神戸女子大学	2
奈良学園大学	1
和歌山大学	2
東京通信大学	1
合計	34

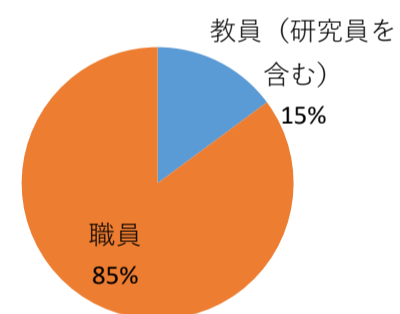
その他

その他	人数
大阪公立大学工業高等専門学校	1
大学女性協会大阪支部	1
合計	2

1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員（研究員を含む）	11	14.9
2	職員	63	85.1
合計		74	100.0

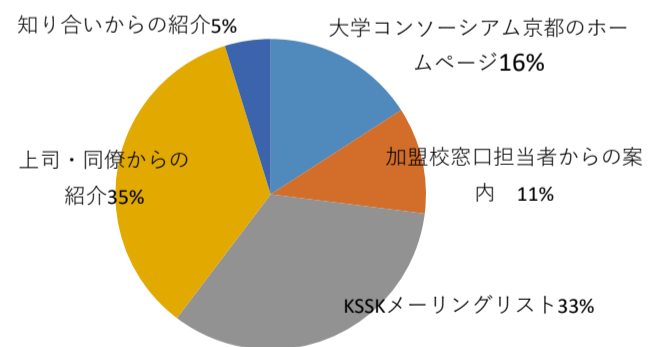
1-2 区分



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	10	15.9
2	加盟校窓口担当者からの案内	7	11.1
3	KSSKメーリングリスト	21	33.3
4	上司・同僚からの紹介	22	34.9
5	知り合いからの紹介	3	4.8
6	その他	0	0.0
合計		63	100.0

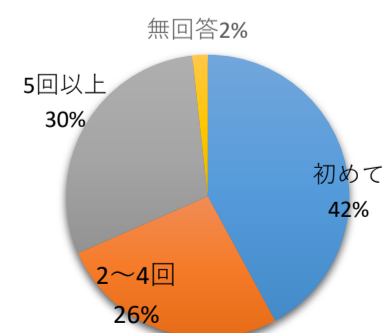
2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



3. KSSKは何回目の参加でしたか？

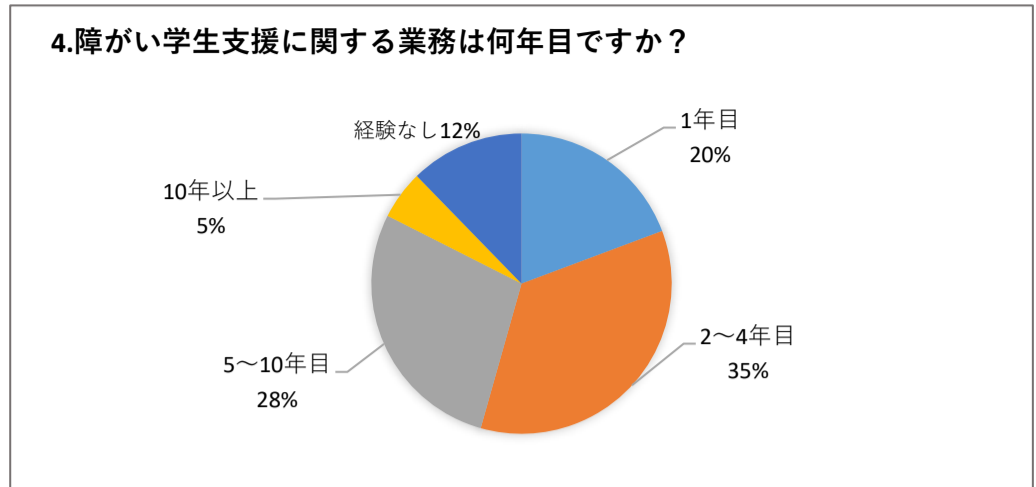
No	選択肢	人数	%
1	初めて	24	42.1
2	2～4回	15	26.3
3	5回以上	17	29.8
4	無回答	1	1.8
合計		57	100.0

3. KSSKは何回目の参加でしたか？



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

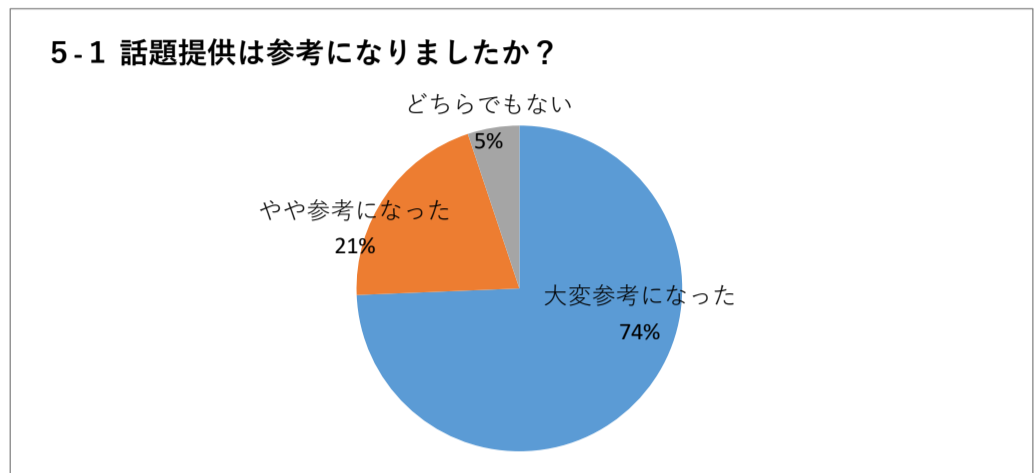
No	選択肢	人数	%
1	1年目	11	19.3
2	2～4年	20	35.1
3	5～10年未満	16	28.1
4	10年以上	3	5.3
5	経験なし	7	12.3
6	無回答	0	0.0
合計		57	100.0



5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	29	74.4
2	やや参考になった	8	20.5
3	どちらでもない	2	5.1
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		39	100.0



5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答内容	理由
1	大変参考になった	テクニカルスタンダードについての現状をしれたため。
2	大変参考になった	4月からコーディネーターになりました。お話しの内容についていくので精一杯でしたが、本学にも看護や言語聴覚など医療系の学科がありますので、ご講演いただいた内容を復習して日々の業務に還元していきたいと思えます。
3	大変参考になった	このようなテーマで准教授の先生にお話を提供していただきありがとうございました。知識不足のために時間的にお話いただくにはたまた短かったかという印象でしたのでもう少し時間をかけてお話しいただけたらよりありがたいです。
4	大変参考になった	これまでOCや入試前面談の場面で学生の特性や状況を考慮し、学部の特徴を職員の裁量でやや踏み込む形で説明し、時には学部変更を促している現状があり、違和感を感じていました。今回お話を伺い、達成基準の説明が欠格条項的な意味合いの説明にならないような留意が必要など改めて考える機会になりました。
5	大変参考になった	テクニカル・スタンダードの概要は知っていたが、改めて教務部門のことと結び付けて話をしていただき、理解が深まった。
6	大変参考になった	テクニカルスタンダードがどういう目的や役割を担っているのかを改めて整理できました。また、必要とされるスキルを定める一方で欠格事項に当たらないよう、合理的配慮を受けてクリアすれば良いということがよく分かりました。
7	大変参考になった	テクニカルスタンダードなど具体的な考え方をご紹介いただき参考になった。
8	大変参考になった	テクニカルスタンダードにおける議論が進んでおり、有益な情報の手がかりをいただきありがとうございました。
9	大変参考になった	テクニカルスタンダードに関して自分の中で曖昧になっていた部分が解消されました。成立した背景・目的や、米国が障害者権利条約を批准しておらず適格性のある障害者を規程しているゆえに日本に馴染み辛いこと、欠格条項として扱われる危険性など色々なことが学べて大変有意義でした。
10	大変参考になった	テクニカルスタンダードの現状について、米国と日本の法的な違いや内容について教えていただけて、新しい合理的配慮についての視点を持てるように感じました。実際、合理的配慮実施の難しさなどもあるとは思いますが、都度、教育の本質というところに立ち返って、考えていくということを忘れずにいたいと思いました。
11	大変参考になった	テクニカルスタンダードの考え方を参照し、合理的配慮提供の検討にあたって留意すべきことを改めて確認できる機会となりました。
12	大変参考になった	医学部や看護学部などでは、実習があるのは明白にわかっているもので、早い段階で見通しをもって準備をしていくことの大事さを再認識いたしました。
13	大変参考になった	医療や看護を学ぶ学部が無く、初めて触れる機会だったため。
14	大変参考になった	改めてテクニカルスタンダードと合理的配慮の関係性や支援のニーズへの対応の重要性や難しさを再認識することが出来た。
15	大変参考になった	海外での取り組みの実際をお聞きしながら、今職場で感じている問題点をリンクさせることができ、とても参考になりました。
16	大変参考になった	合理的配慮に関する最新の状況にふれることができたため
17	大変参考になった	合理的配慮の考え方を、また異なる視点から学ばせていただく事ができました。
18	大変参考になった	世界の動向がよくわかった上、日本の大学がどう取り組むべきかをわかりやすく示されたと思う。医学モデルそのものの欠格条項の問題に前から関心があったので、先生が明確にそれに反対するという立場にたっていることに感銘を受けた。
19	大変参考になった	多くの資料をコンパクトにまとめていただき、後に参照できるようにしていただけたのは大変ありがたかったです。
20	大変参考になった	第三次まとめもまだ消化途中で勉強不足が否めないのですが、「テクニカルスタンダード」という概念があることを初めて知りました。いわれてみれば当然の話ですが、国の風土・文化・歴史や法律によって、受け止めが変わるものがあるのだということも改めて認識しました。自分はまだ「合理的配慮」という言葉に対して身構えがちですが、今回の話題提供がないまま「テクニカルスタンダード」に触れてしまうと、間違ったとらえ方をすることがあったように思います。「バリアをなくすための一定の基準」とするものであることがわかり、大変勉強になりました。
21	大変参考になった	豊富な事例と、個別対応方針を確認できたから
22	大変参考になった	本大学でも、教育学部など実習を伴う学部があり、テクニカルスタンダードの考え方については参考になる部分がありました。

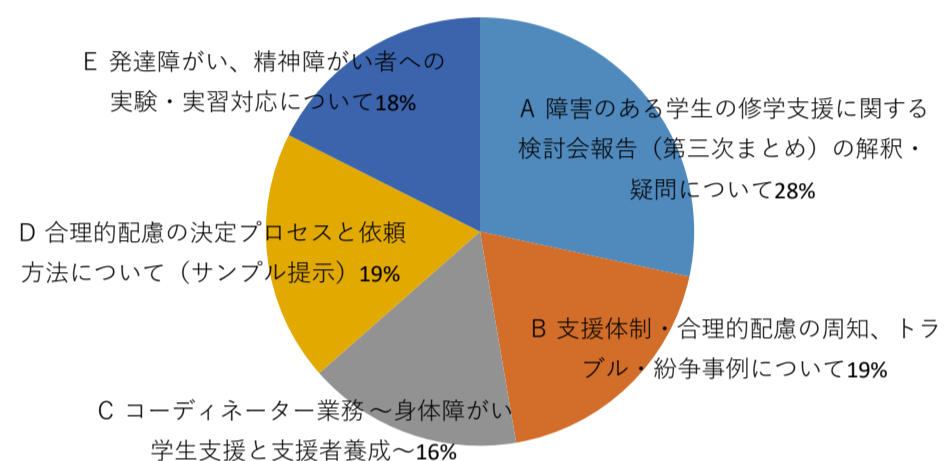
No	回答内容	理由
23	大変参考になった	話題提供いただいた船越先生の講演は大変興味深い話題で、30分という時間はあっという間でした。初めてテクニカルスタンダードという考え方をお聞きしましたが、今後、業務において、障がい学生の実習や学外研修における合理的配慮を検討するうえで、参考にしていきたいと感じました。
24	大変参考になった	曖昧だったテクニカルスタンダードについてうかがうことができた
25	やや参考になった	アメリカではあるが、医療系の事例の紹介があり、参考になりました。
26	やや参考になった	お話のスピードが速く、かつ内容が高度で、ついていくのがやっとという感じでした。
27	やや参考になった	シラバスステートメントについてもう少し詳しく知りたかった。
28	やや参考になった	すでに理解はできている内容でしたが、あらためてお話を聞き、学内でどのように説明していけば良いかという点でとても勉強になりました
29	やや参考になった	実習における合理的配慮に関して、AP・CP・DPの観点に加え、TSなど実習特有の考慮すべき点があることを理解できました。限られた時間でのお話だったため、十分に理解できたとは言い難く、上記の回答となりました。
30	やや参考になった	未知の領域で内容が難しかった。
31	どちらでもない	4月から配属になったので、内容が難しいところが多かった。
32	どちらでもない	テクニカルスタンダードの考え方は自分でも理解しているつもりでしたが、改めて難しい問題だなと感じました。

6. 分科会について

6-1 参加分科会（受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A 障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）の解釈・疑問について	21	28.4
2	B 支援体制・合理的配慮の周知、トラブル・紛争事例について	14	18.9
3	C コーディネーター業務～身体障がい学生支援と支援者養成～	12	16.2
4	D 合理的配慮の決定プロセスと依頼方法について（サンプル提示）	14	18.9
5	E 発達障がい、精神障がい者への実験・実習対応について	13	17.6
6	参加していない	0	0.0
	合計	74	100.0

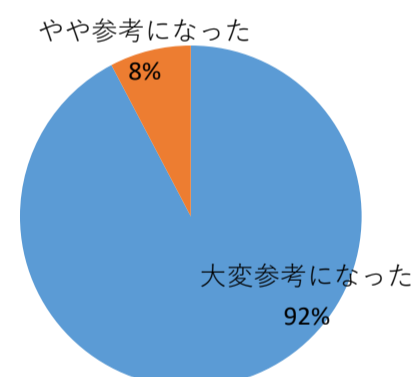
6-1 参加分科会



6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	36	92.3
2	やや参考になった	3	7.7
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
	合計	39	100.0

6-2 分科会の内容は参考になりましたか？



6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

◆『A 障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第三次まとめ）の解釈・疑問について』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	合理的配慮とは？差別的取り扱いとは？根拠資料とは？など、勉強すればするほど頭の中が混乱しているような状態でしたので、分科会に参加して頭の中を整理することができました。村田先生のお話しがとてもわかりやすかったです。
2	大変参考になった	今回、レクチャー形式の内容にはじめて参加させていただいたと記憶しておりますが、ご担当の先生のお話は大変わかりやすく、また、小グループでの意見交換の時間をしっかりお取りいただいたことで様々なご意見をお聞きすることができました。
3	大変参考になった	学内意識の共通という課題に対して、各大学が研修や教員との交流など積極的に行っていると聞き、より能動的な動きが必要と考えさせられました。また、根拠資料の考え方では求められる配慮の水準や現認による妥当性の評価といった視点が新たな学びとなりました。
4	大変参考になった	現場の課題と第三次まとめの提言や検討内容をファシリテーターの先生方が整理してくださいました。ありがとうございました。
5	大変参考になった	「第三次まとめ」の考え方を再確認できました。また教職員間の意識の共通化、社会モデルの考え方、根拠資料の取扱いなど、実務の分野で幅広い課題について、自校の取組紹介や意見交換できました。とくに村田先生から実例をもとに解説していただき、まとめを深く理解できる機会となりました。本当にありがとうございました。
6	大変参考になった	配慮の決定プロセスについて、なぜそのような手段や方法等で行うようになったのか、その背景ごと聞くことができたので、大変参考になりました。どの大学でもいろいろ課題があり、大変なこともたくさんあると思うが、参加者のみなさんが、学生さんのことを一番に考え、日々業務にあたられているのを見て、元気づけられました。
7	大変参考になった	他大学の方と話す機会が持てたことが良かったです。グループワークの司会進行をうまくして下さったお陰でとても話しやすかったです。
8	大変参考になった	他大学での状況を知ることができ、今の障害学生支援の動向も知ることが出来たので。
9	大変参考になった	豊富な具体例を出していただきながら、細部の考え方や、判断に困るケース、タイムリーな話題でもある合理的配慮としてオンライン授業の提供に関しても、具体的にお伺いできたことが大変学びとなりました。

No	回答	記述
10	大変参考になった	申し込んだのが遅かったという理由で自動的に分科会Aになったけども、村田先生がポイントがわかるようなかたちで第三次まとめについて話してください、グループでの話も本当に本当に有益だった。その後の振り返りも、ためになりました。まだ着任してもいない段階での参加でしたが、大満足です。
11	大変参考になった	レクチャーが大変わかりやすく、懇談でも様々な大学の支援体制や取り組みを共有できて、修学支援に対する理解が深まったため。
12	大変参考になった	まだ学生支援の部署に配属されてから歴も浅く、まずは学生支援に関する全体的な知識を身につけたいと思い参加させていただきました。第三次まとめの要点を開示いただいたことで、かなり理解が進んだように思います。
13	やや参考になった	他大学で疑問に思われていることが様々で、学生対応や教員対応について、今後参考になることが多かったです。また、たっぷり時間をとっていただいたので、より深いところまで意識の共有ができたと感じました。

◆『B 支援体制・合理的配慮の周知、トラブル・紛争事例について』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	他学での対応も同じような課題を抱えながら取り組まれていることが共有出来ました。
2	大変参考になった	他大学の様子を知ることができたため
3	大変参考になった	現在、抱えている紛争について、他大学の担当者の意見を多く聞くことができた。
4	大変参考になった	各大学の取り組みや現状、皆さんの悩みを共有できて有意義な場になりました。また、本学でも活かせる取り組みを教えていただき、ぜひ反映したいと思いました。
5	大変参考になった	具体的な事例や考え方を紹介いただいた
6	大変参考になった	それぞれが自由に話す場所になり、和やかな雰囲気の中、それぞれの大学の特徴などもお聞きすることができて、とても良い意見交換の場となりました。
7	大変参考になった	今年度から担当になったので、まだ右も左もわからない状況ですが、そのような私でも他大学の様々な立場の方からのお話はとても有益でした。当分科会ではまさに「リスクマネジメント」に直面するテーマでしたが、「上を動かすには『リスクマネジメントの対応である』と説得するの一手ですよ」という望月先生のお話は、本当にそのとおりだと感じました。本学でも一定の対応はできているとは感じているものの、細部で紛争が起こればリスクがあるように認識しています。どこから着手すればよいかわからなかったのですが、規程を作って責任の所在を明記したうえで運用されている大学の事例は大変参考になりました。本学での文化や風土とすり合わせながら、すでに取り組まれている事例を参考にさせていただいて、業務へ還元できるようになればと思います。
8	大変参考になった	他大学の状況を知ることができる良い機会でした。
9	やや参考になった	他大学の取組等、参考になる部分が多くあり、有益でした。ただ、人数が多く、じっくり深掘して話す時間がもう少し欲しかったです。

◆『C コーディネーター業務～身体障がい学生支援と支援者養成～』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学で実際に支援をしている身体障害学生、とりわけ聴覚障害学生や肢体不自由学生（車いす使用者）に関して情報提供がありました。また、肢体不自由学生の学内での生活介助の捉え方に関して、大半の大学が本来業務付随の考え方から障害福祉サービスでカバーされるものと考えていることがわかりました。また、重度訪問介護利用者等大学等修学支援事業の利用制限の可能性についても議論がなされました。
2	大変参考になった	各大学の現状を知れたため。
3	大変参考になった	分科会では、様々な立場からの各大学での取り組みについてのお話が聞けて、非常に参考になりました。大学の規模や性質の違いなどもあり、その内容は様々ではありましたが、合理的配慮への皆さんの熱い思いをうけて沢山パワーをいただくことができました。
4	大変参考になった	分科会参加各大学の取り組み状況等の生の声にふれることができたため
5	大変参考になった	他大学の取り組みを知ることができ、困っているケースについての対応のヒントをいただけた

◆『D 合理的配慮の決定プロセスと依頼方法について（サンプル提示）』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	各大学での配慮依頼文発出までのプロセスや配慮文のサンプルを見ることが出来て、参考になることが多かったです。
2	大変参考になった	実際困っていることの共有が出来た
3	大変参考になった	他大学の資料を参照しながら課題をテーマに話せたことは大変実り多く、今後本学でも試してみる価値がありそうなこともたくさんありました。ありがとうございました。
4	大変参考になった	KSSKには、初めて参加させていただきましたが、少人数のグループで各大学の実情を共有し合うことができました。それぞれの大学で工夫されている点、苦労されている点、など、講義形式の研修会では共有することが難しい部分もディスカッションできたのでよかったです。
5	やや参考になった	今まで他大学の支援方法や状況、苦労話などを聞いたことがなかったため、驚くことも多く楽しい懇談会でした。

◆『E 発達障がい、精神障がい者への実験・実習対応について』（記述内容一部抜粋）

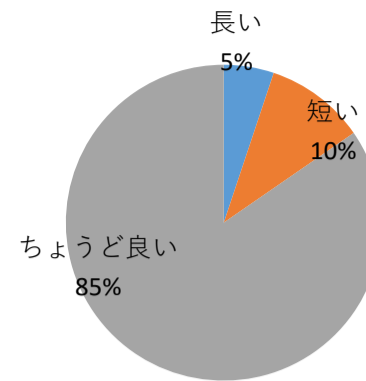
No	回答	記述
1	大変参考になった	日々、実習・教育の本質などの事で悩むことが多いため
2	大変参考になった	実習・実験での配慮に関する課題・悩みについて、参加者同士で重なる点が多く、安心できました。また、事例に対する船越先生からのアドバイスも大変的確で、参考になることばかりでした。特に、身の危険が伴う場合の実験・実習に関して、支援者が念頭におくべき複数の点がありますが、その優先順位を整理し、理解できたことは個人的に大きな収穫でした。
3	大変参考になった	豊富な事例と、個別対応方針を確認できたから

7. 懇談会全体について

7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	長い	2	5.1
2	短い	4	10.3
3	ちょうど良い	33	84.6
4	その他	0	0.0
5	無回答	0	0.0
合計		39	100.0

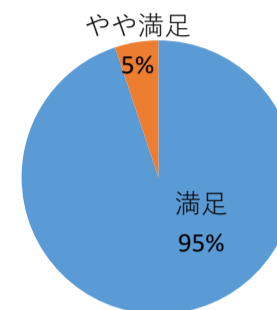
7-1 時間配分



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	37	94.9
2	やや満足	2	5.1
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		39	100.0

7-2 満足度

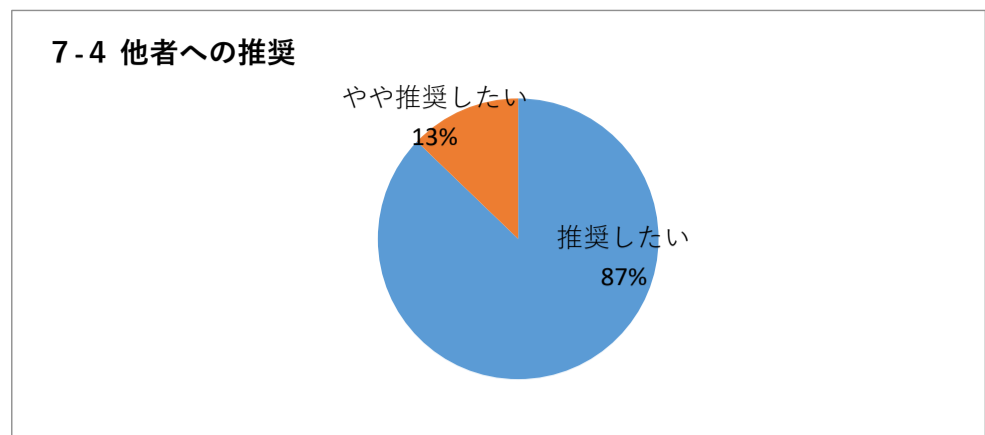


7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	いつも、心が折れそうになったくらいのタイミングでKSSKが開催され、そこでみなさんと話すことができ、また日々業務に向き合うことができるので。
2	満足	さまざまな、大学での取り組みをお聞きすることができたことが、満足感につながりました。
3	満足	なかなか悩みを共有できる機会がないため
4	満足	横のつながりをもて励みになった
5	満足	何がわかっていないかわからないことも多く、自分だけで情報を収集することには限界があると感じていましたが、各大学で取り組まれている事例をお伺いするだけでも大変な情報収集ができました。併せて、各大学での抱えられている課題を知ることができ、また、そのことが自大学でも当てはまるのではないかという新たな気づきを得ることもできました。
6	満足	各大学での具体的な対応方法などが非常に参考になりました。また関西圏の大学での障害学生支援に関わる方々との交流ができ、非常に貴重な機会をいただき感謝しています。
7	満足	各分科会で話していただいた内容を共有していただけたのが良かったです。
8	満足	学びの場として、横のつながりを持つ場として貴重な機会であるため。
9	満足	研修内容はもちろん、同じ分野で悩みつつ現場で働いている人たちと場を同じくして話題を共有できた安心感があった。
10	満足	原点に立ち戻れる機会となっています。
11	満足	視野が狭くなりがちなのが多いと思うので、大変貴重な機会だと思います。
12	満足	初めての参加でしたがとても有意義な時間を過ごすことができました。大学の規模もカラーも様々な中で、みなさん支援体制をより良くしていこうと頑張っておられる話を聞いて、とても刺激になりました。
13	満足	初参加でしたが、ローカルに情報交換できる場があることはとても良いな、と思いました。
14	満足	上記でお答えさせていただいたとおり、こちらの懇談会ならではの雰囲気の中で、様々な規模や障がい学生支援の年数、お立場の皆さんが一同に介して様々な視点のお話を伺えること、何度も参加することで他大学様やご担当者様との繋がり構築を得られる仕組みをつくっていただいていることが大変ありがたいためです。毎度このような機会を提供いただきましてありがとうございます。
15	満足	上記理由と、他校のみなさんとの情報交換できたこと。いつも思うのですが、「わかった」つもりになっている基本的な理解がおぼつかなかった、あるいは再確認できたことは大変有難いです。
16	満足	息抜きをかねて参加させていただき、帰る頃には元気と明日への活力をいただくことができ、いつも大変満足しています。
17	満足	他の研修会にはない形式の研修会（懇親会）で、ぜひ、次回以降も参加したいと思いました。
18	満足	他大学に聞いてみたい内容だったので、勉強になりました。
19	満足	他大学の担当者と知り合うことができた。
20	満足	他大学の様子を知ることができたため
21	満足	大変有意義でした。
22	満足	知識的な部分をアップデートする機会になる上に、各大学の状況具体的にも知ることができるため。
23	満足	分科会が長いことで、皆さんとの共有時間も長くっていただけたため。
24	満足	別々の職場で、一同に会することの重みなど
25	満足	毎年、運営されている先生方やリピーターで参加されている方のお顔を見ることができただけで、ほっとしています。
26	満足	約8年ぶりに参加をしましたが、久しぶりにホームに戻ってきた気持ちになりました。他大学の取組状況等も学ぶことが多く、勉強になりました。
27	満足	立ち上げからこんにちでの活動のご苦労に頭がさがります。趣旨に賛同する大学も多く、このような会があることは関西の誇りです。
28	満足	話題提供では示唆に富んだ内容を提示していただき、分科会Cでは様々な大学の方々と身体障害学生の支援について議論をすることができたためです。
29	満足	話題提供や分科会のテーマが身近な内容であり、普段見えてこない他大学の取り組みや悩み課題を共有できる貴重な場と思います。大きな変化を起こすことは難しいですが、まずは自分自身できることは何だろうと考える機会になりました。
30	やや満足	話題提供のボリュームが多いのに、時間が少なかったので理解が難しい。

7-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	34	87.2
2	やや推奨したい	5	12.8
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	0	0.0
6	やや推奨したい	0	0.0
	合計	39	100.0



8. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。(記述内容一部抜粋)

No	内容
1	「対話」について。「交渉」ではなく「対話」をするというのは、技術だけではないように思っています。自身、面談で建設的対話がうまくいったと思うケースはあまりなく、結果、学生が主体的に学び、教員も曇りない気持ちで教育できている、そういう状況になって、あの対話で良かったのかな?と思っている(思うようにしている。)状況です。みなさんは何をもちて建設的対話としているのか?を知りたいと思いました。合理的配慮内容が質的にも少しずつ醸成されつつある中なので、人間理解としての「対話」、スキルとしての「建設的対話」を考える機会があればと思いました。
2	「第3次まとめ」で包摂されている内容は広範囲となります。そのときどきによって、ちがう課題に直面することで違った対応がもたられますので、時期を変えてまた同様のテーマ設定で分科会設定していただくことも有効かと思えます。
3	●実験、実習の調整について。 ●合理的配慮に関して、学内・学外弁護士に相談しながら対応したケースについて。
4	キャリア支援部署との連携、合理的配慮に関する教職員の理解が実際に深まったFD・SDの事例
5	支援に繋がりにくい学生への工夫やアプローチ 対応事例
6	支援者の育成について
7	事前的改善措置について
8	事例検討
9	実験実習に関する合理的配慮について
10	重度障がいの学生や聴覚・視覚などの障害種別で参加できる分科会など。
11	障害学生の社会移行について取り上げていただきたいです。
12	先の話にはなりますが、ある程度(世間的にも)意識が浸透してきたときに、第3次まとめに沿って運用する中で出てくる各大学の新たな課題など、情報交換できれば幸いです。
13	福祉、就業、医療、行政など種々の学外リソースをどのように学生支援で活用できるかの紹介。
14	分科会に分かれて、実施して下さるので、とても良かったです。
15	紛争防止解決のための取り組みについて

9. 懇談会の改善点があればご記入ください。(記述内容一部抜粋)

No	内容
1	話題提供のご講演を、もう少し長い時間をとってお聞きしたかったです。
2	他分科会などの内容も、より詳細に知りたいと感じるため、個人情報に抵触しない範囲で議事録等の共有いただけるとありがたいと感じました。

10. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。(記述内容一部抜粋)

No	内容
1	各大学のアンケート結果を資料にしてもらえたのは、メモばかりせずすみ、話しやすく、とても参加しやすかったです。
2	時間がいつも足りなく感じます。それだけ有意義な時間だと思うので、午前・午後に分けて終日行うということを企画いただけるとありがたいです。
3	障がい学生支援に関して先進的な取り組みを行っている大学や組織の取り組みを聞きたいです
4	幹事校、事務局の皆様お世話になり、ありがとうございました。